

〔ペルメトリン乳剤〕

農林水産省登録 第15957号
 性 状：淡黄色澄明可乳化油状液体
 毒 性：普通物
 危険物：第4類第2石油類 III
 有効年限：5 年
 包 装：100 ml×60 本、500 ml×20 本

アディオ[®]乳剤

有効成分：ペルメトリン(PRTR・1種)……20.0%

補助成分：キシレン(PRTR・1種)……26%以下 エチルベンゼン(PRTR・1種)……47%以下



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農カサイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
 本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農カサイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧になります。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
なし	アブラムシ類 シンクイムシ類	2000~3000 倍	200~ 700 ℓ	前日	2 回	散布
	ハマキムシ類 カメムシ類	2000 倍				
もも	カメムシ類	2000~3000 倍				
	シンクイムシ類 アブラムシ類					
	ハマキムシ類					
ネクタリン	モモハモグリガ	2000~4000 倍				
	カメムシ類	2000 倍				
	シンクイムシ類・アブラムシ類	2000~3000 倍				
かき	モモハモグリガ	2000~4000 倍				
	カキクダアザミウマ	2000 倍				
キウイフルーツ	カキノヘタムシガ チャノキイロアザミウマ カメムシ類	2000~3000 倍				
	キイロマイコガ	2000 倍				
くり	カメムシ類	2000 倍				
	クリタマバチ	1000~2000 倍				
かんきつ	クリシゴゾウムシ	2000 倍				
	ミカンハモグリガ アブラムシ類	2000~4000 倍				
	チャノキイロアザミウマ	2000~3000 倍				
いちじく	カメムシ類	2000 倍				
	アザミウマ類・アブラムシ類 イチジクヒトリモドキ	3000 倍				
アロニア	シンクイムシ類	2000 倍				
はまなす (果実)	オンシツコナジラミ アブラムシ類・ウリハムシ	2000~3000 倍				
きゅうり	アブラムシ類・フキノメイガ					
ズッキーニ	アブラムシ類・カメムシ類 タバコカスミカメ・ヨトウムシ類 フキノメイガ					

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
すい メロ かぼ ちや ご	アブラムシ類	2000~3000倍	100~ 300ℓ	前日	5回	散布
		3000倍				
		2000~3000倍				
ごぼ う	ヨトウムシ	2000倍				
だい ず	フタスジヒメハムシ マメシンクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ マメハンミョウ ツメクサガ ウコンノメイガ	3000倍		7日前	3回	
	マメシンクイガ ジャガイモヒゲナガアブラムシ	24倍	0.8ℓ			無人航空 機による 散布
う め	アブラムシ類	3000倍	200~ 700ℓ	前日	2回	散布
ピー マン		2000~3000倍	100~ 300ℓ		5回	
	とうが らし類	アブラムシ類		2000~3000倍	7日前	2回
タバコガ		2000倍				
キャ ベツ	ネキリムシ類	4000~8000倍	0.5ℓ/m ²	21日前	本剤：2回 ベルメトリン ：5回 (株元灌注 は2回)	株元 灌注
	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ タマナギンウワバ	2000倍	100~ 300ℓ	3日前	本剤：5回 ベルメトリン ：5回 (株元灌注 は2回)	散布
はく さい	アオムシ コナガ アブラムシ類 ヨトウムシ			7日前	5回	
だい こん	アオムシ ダイコンサルハムシ コナガ ヨトウムシ ハイマダラノメイガ	2000~3000倍	100~ 300ℓ	30日前	4回	散布
	アブラムシ類					
か ぶ	アオムシ	2000倍	100~ 300ℓ	前日	本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (散布は 2回)	散布
茎ブロッ コリー				7日前	3回	
ブロッ コリー カリフ ラワー	コナガ	2000~3000倍	100~ 300ℓ	3日前	5回	散布
非結球 レタス (リーフ レタス を除く)	アブラムシ類				2000倍	
レ タ ス	アブラムシ類	2000~3000倍	100~ 300ℓ	3日前	5回	散布
リーフ レタス	ヨトウムシ				2回	
ト レ ビ ス	アブラムシ類	3000倍		7日前	3回	

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法	
たまねぎ	アザミウマ類・ネギコガ ハスモンヨトウ	3000 倍	100~ 300 ℓ	7 日前	5 回	散布	
ねぎ	アザミウマ類・ネギコガ シロイチモジヨトウ				2000 倍		3 回
にんにく	ネギコガ アブラムシ類	2000~3000 倍	200~ 700 ℓ	前日	本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (#2)		
ハスカップ	ハマキムシ類 アブラムシ類			2 回			
アスパラガス	ジュウシホシクビナガハムシ カメムシ類 ヨトウムシ・アブラムシ類	2000 倍	100~ 300 ℓ	前日	3 回		
さやいんげん	カメムシ類	3000 倍		14 日前			
豆類 (未成熟、ただし、 さやいんげん、さ やえんどう、未成 熟そらまめを除く)	アザミウマ類 アブラムシ類 ハモグリバエ類 ヨトウムシ類 ウラナミシジミ アズキノメイガ マメシロイモ			7 日前			
未成熟そらまめ	ヨトウムシ類・ナモグリバエ ウラナミシジミ			前日			
さやえんどう	ヨトウムシ類・アブラムシ類・ハクサイダニ			14 日前			2 回
しそ	ハスモンヨトウ・アザミウマ類 アブラムシ類・コナジラミ類 ウリハムシモドキ	4000 倍		5 日前			本剤：2回 ベルメトリン ：4回 (#2)
ミニトマト トマト	オンシツコナジラミ アブラムシ類	3000 倍 2000~3000 倍		前日		1 回	
なす	アブラムシ類 オンシツコナジラミ テントウムシダマシ類 カメムシ類	2000 倍				3 回	
なばな	コナガ	2000~3000 倍				14 日前	4 回
ばれいしょ	アブラムシ類 テントウムシダマシ類						
とうもろこし	アワノメイガ アブラムシ類	2000 倍 3000 倍	7 日前	3 回			
あずき	アズキノメイガ アブラムシ類	2000 倍 3000 倍					
やまのいも	アブラムシ類・ヤマノイモコガ アザミウマ類	2000~3000 倍	5 回				
さいとも	ハスモンヨトウ アブラムシ類・スズメガ類	2000 倍 3000 倍					
かんしょ	イモコガ	3000 倍					
茶	チャノコカクモンハマキ チャノミドリヒメヨコバイ チャノソツガ チャノキイロアザミウマ	2000 倍 2000~3000 倍	200~ 400 ℓ	摘採 14 日前	1 回		
そらまめ	アブラムシ類	3000 倍	100~ 300 ℓ	7 日前	3 回		
オクラ	ハスモンヨトウ・カメムシ類 アブラムシ類	2000 倍		前日			

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
非結球あぶらな科 葉菜類 (しろな、みずな、 なばな類を除く)	アオムシ	2000倍	100~ 300ℓ	前日	3回	散布
		2000~4000倍				
みずな	アブラムシ類・ダイコンハマシ ヤサイゾウムシ	3000倍	200~ 700ℓ	7日前	2回	
	アオムシ					
つるむらさき	ヨトウムシ	2000倍	200~ 700ℓ	7日前	2回	
さるなし	キロマイコガ					
食用ゆり 葉ごぼう	アブラムシ類	3000倍	100~ 300ℓ	前日	5回	
	食用亜麻 ごま	ヨトウガ		14日前	2回	
しゅんぎく	アブラムシ類	2000倍	100~ 300ℓ	3日前	3回	
	ハクサイダニ	4000倍		21日前	2回	
さといも (葉柄)	ハスモンヨトウ	2000倍	100~ 300ℓ	7日前		
	アブラムシ類	3000倍				
はぼたん	アオムシ	2000倍	200~ 700ℓ	発生初期	6回	
	アブラムシ類	2000~4000倍				
花き類・ 観葉植物 (はぼたんを除く)	カメムシ類 ハマキムシ類 ヨトウムシ類	2000倍	200~ 700ℓ	発生初期	6回	
	アブラムシ類	2000~4000倍				
樹木類 (くちなしを除く)	ケムシ類 アブラムシ類 シャクトリムシ類	4000~8000倍	200~ 700ℓ	21日前	1回	
	くちなし	アザミウマ類				
はこべ	オオタバコガ	3000倍	100~ 300ℓ	21日前	1回	

#1: 乳剤は3回、粒剤は3回

#2: 乳剤は2回、粒剤は2回



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切る。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類が増えることがあるので注意する。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布する。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守る。
 - 散布は各散布機種種の散布基準に従って実施する。
 - 無人航空機による散布にあつては散布機種種に適合した散布装置を使用する。
 - 散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - 特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わない。
 - 作業終了後は次の項目を守る。
 - ・使用後の空の容器は放置せず、適切に処理する。
 - ・使用残りの薬液は必ず安全な場所に責任者をきめて保管する。
 - ・機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。
 なお、普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意



- 蚕に長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し、付近の桑に付着するおそれのある場所では使用しない。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しない。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - 関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 誤飲などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合は吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせる。

本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 本剤による中毒の治療法としては、動物実験でメトカルバモール製剤の投与が有効であると報告されている。
- 原液は眼に対して刺激性があるので、薬液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮ふに付着しないよう注意する。

付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋などを着用する。また薬液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 水産動植物（魚類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用する。養殖池周辺での使用はさける。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意する。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないように注意を払う。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。
- 危険物第4類第2石油類に属するので火気には十分注意する。
- 火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管する。

12頁記載の注意事項、(1)、(2)、(3)、(4)－Gも合わせてお読み下さい。

〔品目特性〕

- 合成ピレスロイド系殺虫剤です。
- 60作物以上に登録を有しています。